

志賀原子力発電所 マンスリーレポート (2021年12月分)

2022年1月7日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所の事故・故障等の情報および運転保守情報(2021年12月分)を、下記の通りお知らせいたします。

記

■ 事故・故障等の情報

該当する事象はありませんでした。

■ 運転保守情報

○連絡区分Ⅰ

該当する事象はありませんでした。

○連絡区分Ⅱ

該当する事象はありませんでした。

○連絡区分Ⅲ

志賀原子力発電所1号機タービン補機冷却水系配管からの漏えいについて(別紙参照)

以上

事故・故障等の情報

法令・安全協定等に基づき、国、石川県、志賀町等関係自治体に連絡しているもの

運転保守情報

法令および安全協定には該当しませんが、連絡基準覚書*等に基づき石川県、志賀町等関係自治体に連絡しているもの

※ 連絡基準覚書

石川県、志賀町との間で締結した「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」

(参考) 連絡区分Ⅰ：直ちに連絡が必要なもの

連絡区分Ⅱ：区分Ⅰよりも緊急性の程度は低いが、速やかな連絡が必要なもの

連絡区分Ⅲ：保守情報として定期的(原則、翌月10日まで)に連絡することが適当なもの

志賀原子力発電所1号機 タービン補機冷却水系配管からの漏えいについて

志賀原子力発電所1号機（第13回定期検査中）において、2021年12月10日（金）20時頃、タービン補機冷却水系^{※1}（以下「TCW系」という。）のサージタンク^{※2}水位が低下していることを運転員が確認しました。

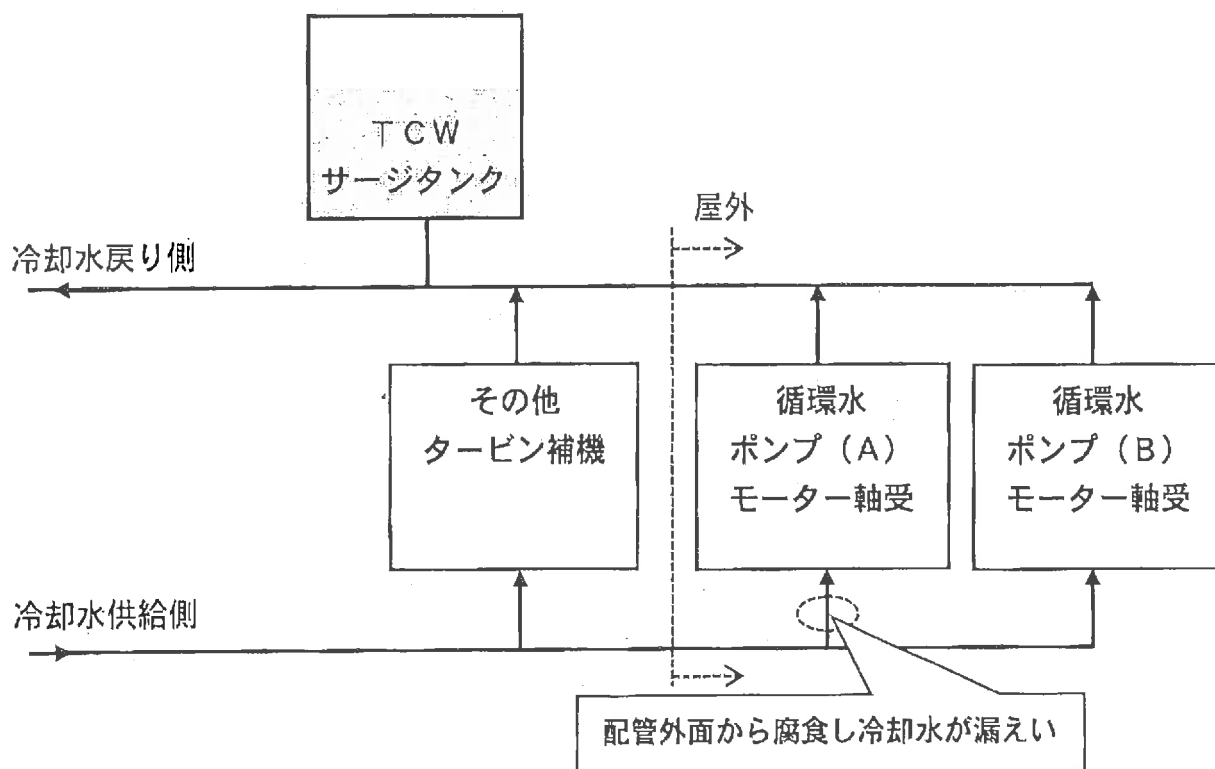
TCW系を調査したところ、屋外にある循環水ポンプ^{※3}（A）のモーターの軸受に冷却水を送る配管から冷却水が漏えいしていることを発見しました。

TCW系を停止して漏えいを止め、その後、当該配管の閉止措置を施した後、TCW系を再起動しました。

調査の結果、当該配管を包む保温材の隙間から雨水が浸入して配管が外面から腐食し、漏えいに至ったものと推定しています。

なお、漏えいした水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。

- ※1 タービン関連の補機（ポンプ、モーター等）に冷却水を供給するための系統
- ※2 TCW系冷却水の温度変化による膨張・収縮の吸収等を行うためのタンク
- ※3 復水器に冷却水（海水）を供給するポンプで、プラント起動前まで運転しない



TCW系概要図